

2014年 1月14日

「イルカ・クジラ教室～あまみ編～」講座 報告書

川上 晃生

講師 岡部 晴菜先生（沖縄美ら島財団 美ら島研究センター）

日時 2014年 1月12日（日）

参加者 大人 18名 小人 26名

目的

私たちの住む奄美大島では、近年、イルカなどの鯨類の個体数の調査が開始され、大島海峡内や外洋でその姿を目撃されている例が増えている。

本講座では、クジラやイルカを身近に感じられるように生態系や種類について、実際の映像や音、クイズを取り入れての説明（識別体験）、実物の歯や骨格標本に触れるなどを行い、鯨類に対する知識と興味を深めることを目的としています。

講座内容

- ・「イルカ・クジラの生態」
（イルカ・クジラのからだとその違い・餌の食べ方等）
- ・「イルカ・クジラの生態に関するクイズ」
- ・「ザトウクジラについて」
（ザトウクジラの生態系、行動を知る）
- ・「個体識別の方法」
- ・「クジラを見るには？」
（陸からのホエールウォッチングと海からのホエールウォッチング）



講座風景①



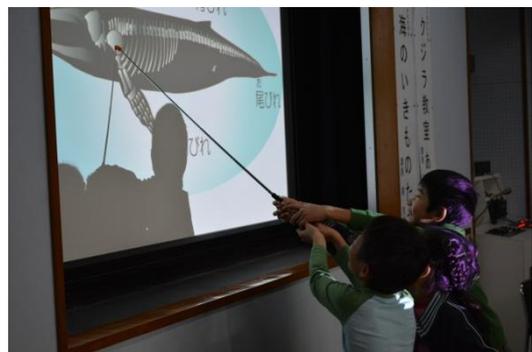
講座風景②標本に触れる



講座風景③標本に触れる



講座風景④ミナミバンドウイルカの生態



講座風景⑤ザトウクジラの生態



講座風景⑥ザトウクジラ骨格標本に触れる



講座風景⑦個体識別クイズ



講座風景⑧個体識別クイズ



講座風景⑨個体識別クイズ

2014年 1月14日

「あまみの海のいきものたち」講座 報告書

川上 晃生

講師 興 克樹先生（奄美海洋生物研究会）

日時 2014年 1月12日（日）

参加者 大人 18名 小人 26名

目的

私たちの住む奄美大島の周りを美しいサンゴ礁が囲んでおり、このサンゴ礁には多くの生物たちが生息しています。

本講座では、サンゴに生息している生物やオニヒトデ駆除の状況、さらに過去の捕鯨記録などを学び、郷土の生態系、環境について再認識するとともに、自然に対する興味を深めることを目的としています。

講座内容

- ・「奄美の海の生物」
- ・「奄美群島オニヒトデ駆除のデータ」
- ・「近年のクジラ・イルカの見撃数」
- ・「奄美大島久根津における大型鯨類捕獲記録」



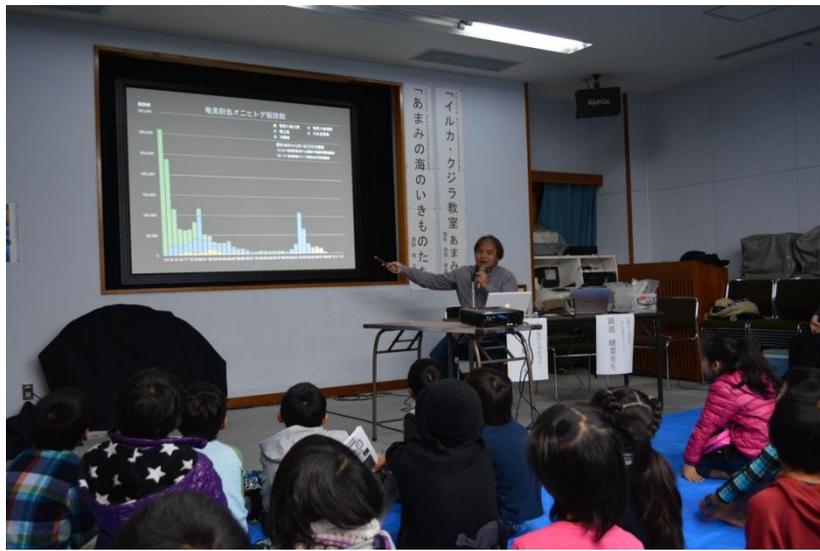
講座風景①



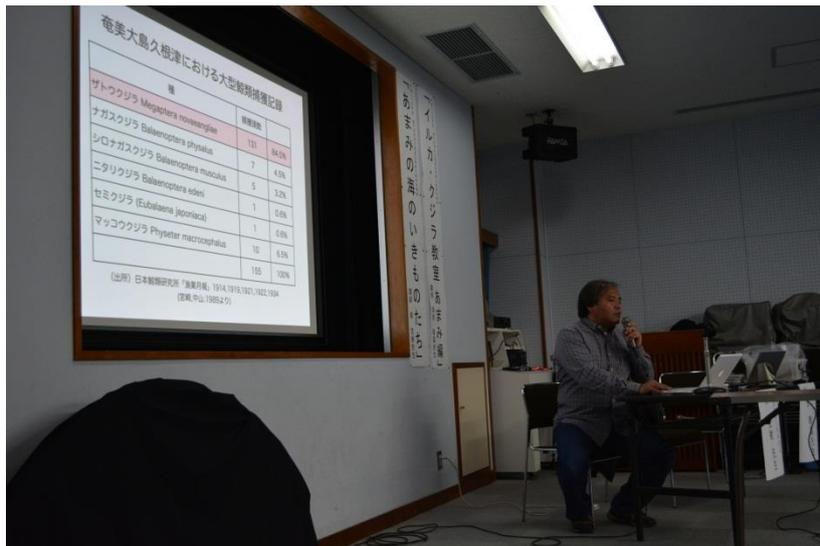
講座風景②海の生物たち



講座風景③海の生物たち



講座風景④奄美群島オニヒトゲ駆除数



講座風景⑤奄美大島久根津における大型鯨類捕獲記録

2014年1月15日

「子供調査 イルカ&クジラ見つけ隊」報告書

正 智子

講師 岡部晴菜（美ら島研究センター） 興克樹（奄美海洋生物研究会）

同行者 鼎丈太郎、秀平かおり、濱地武之、奥村暢男、武茂樹、武夏樹、正智子

備船 ゴリマリン

参加者 子供 23名

場所 大島海峡及び大島海峡東側入口周辺海域

目的

奄美大島瀬戸内町の大島海峡で多くみられるミナミバンドウイルカや、冬季来遊するザトウクジラの生息状況の調査。大島海峡にて日本初記録された「ミナミバンドウイルカ」の生息・生態調査を実施し、身近に生息しながらも認識する機会の少ない海洋生物を知る機会とする。また、奄美海域周辺に冬季来遊するザトウクジラのウォッチング体験をすることで、奄美の海への興味を深め、海洋生物を通して四季や奄美の海の魅力を感じる機会とした。

成果

奄美大島太平洋海峡入口から与路島周辺海域を調査コースとし、海洋生物の生息・生態を知り、地域に住む小中学生の海洋生物などへの興味を深める機会としたが、悪天候が予想されたので、予定していたコースを変更して大島海峡及び東側外洋の一部海域の調査を行った。

- ・同町清水にて黒い影（ミナミバンドウイルカか？）が見られたが、その後確認することができなかった。
- ・東側海域外洋は波が高く、予定の調査よりも短時間の調査となり、海洋生物の姿は確認できなかった。
- ・大島海峡の東側入口の穏やかな場所にて、水中マイクを投入したが、ザトウクジラなどの声は確認できなかった。天候不良のため、予定より 30 分早く帰港した。



調査風景



調査風景



調査票とアンケート記入風景